

# 東京都主催 平成 24 年度「防災展」 —首都直下地震に備えよう—

## 地震発生時の対応、地震時管制運転装置及び戸開走行保護装置の設置等の促進

日本エレベーター協会は、2013 年 1 月 12 日(土)から 1 月 14 日(月)の 3 日間、新宿駅西口広場イベントコーナーで開催された東京都主催の平成 24 年度「防災展」—首都直下地震に備えよう—に出展しました。

当協会は、地震発生時にエレベーター内への閉じ込めを防止する「地震時管制運転装置」、エレベーターの戸が開いたまま走行することを防ぐ「戸開走行保護装置」、これらを装備するためのエレベーターのリニューアル工事、さらにエスカレーターで正しい乗り方について、展示しました。

期間中、エレベーターに設置されているさまざまな安全装置等についての説明パネル、並びに P 波(初期微動)及び S 波(本震)の地震感知器の実物を展示しました。さらに、地震発生時、緊急時等のエレベーター内での対応方法、「戸開走行保護装置」を設置するリニューアル工事、安全装置の説明等のリーフレット類を配布しました。これらを用いて、ご来場いただいた方々に説明員がエレベーターの安心、安全についてより具体的に、かつ詳細に説明しました。

さらに、近年増加しているエスカレーターでの利用者災害に鑑み、「エスカレーター利用時の歩行による危険性」を広く周知する呼び掛けを行いました。

今回の出展では、350 名以上のご来場者に具体的にご説明させていただき、さらに多くの方からのご質問に対してご回答し、ご要望、ご意見等をいただきました。ありがとうございました。

### <各装置の説明>

「P 波感知型地震時管制運転装置」及び「戸開走行保護装置」は、2009 年 9 月 28 日に施行された建築基準法施行令によって新規に設置するエレベーターに設置が義務付けされています。

「P 波感知型地震時管制運転装置」は、地震の一定値以上の P 波(初期微動)を感知したとき走行中のエレベーターを最寄り階に自動的に着床させる装置で、地震発生時のエレベーター内への閉じ込めを防止することを目的としたものです。

「戸開走行保護装置」は、エレベーターの駆動装置、制御装置等が故障し、かご及びすべての乗場の戸が開まる前にエレベーターが昇降したとき、エレベーターを自動的に制止する安全装置です。



ご来場者に説明員(黄色のジャンパー着)からご説明風景